

又四郎喧嘩旅 (1956)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ロマンズ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 96分

初公開日 1956/01/09

【解説】

山手樹一郎の小説『又四郎行状記』をもとに「綱渡り見世物侍」の賀集院太郎が脚色し「花の渡り鳥」の田坂勝彦が監督した明朗快活な時代劇作品。撮影は「悪太郎売出す」の武田千吉郎。市川雷蔵は本作でもお得意の一人二役を披露している。

諏訪藩には直系の多恵姫と傍系の琴姫の二人の姫がいた。琴姫を世継ぎにしようとする大島刑部は多恵姫を暗殺するべく暗殺団を編成し諏訪へ向かわせる。笹井又四郎は奇妙な縁から暗殺団に雇われるが、計画の全貌を知り多恵姫を救うことにする。多恵姫を守るため諏訪に向かった芸者のお艶に警告を与え、偶然出会った多恵姫を横抱きにしたまま馬で暗殺団の間を駆け抜ける又四郎だったが、乗っていた馬が狙撃されてしまい、姫とともに崖下に転落してしまうのだった。

【クレジット】

監督 田坂勝彦

製作 酒井箴

企画 浅井昭三郎

原作 山手樹一郎

脚本 賀集院太郎

撮影 武田千吉郎

美術 西岡善信

音楽 長津義司

出演 市川雷蔵

瑳峨三智子

三田登喜子

阿井美千子

田端義夫

清川虹子

羅門光三郎

入江たか子

市川小太夫